地域振興推進費事業計画•自己評価書 (実績)

出区 分 平成31年4月10日 地域振興局 玾 番 护 課題区分 9 C 実施機関 長野農業改良普及センター 所属 長野地域振興局農政課 抇 当 電話 内線2187 高品質・早期多収技術の短期習得講座による 事 業 名 課 果樹担い手層の強化育成 E-mail nagachi-nosei@pref.nagano.lg.jp 多様な地域農業の担い手を確保・育成するため、従来の講座研修(セミナー)体系に技術実践 目 的 (目指す姿) 型の講座を組み合わせ、新規就農者の早期技術習得を図る。 事 農業改良普及センターやJA等で開催している各種品目の講座は、地域農業者の協力を得て、 現状と -時ほ場借用している。農業改良普及センターやJAの講師が実技を行うが、技術習得していな 課題 業 い受講生には実技を行わせないのが一般的で、早期技術習得が課題となっている。 1 技術実践型講座の開催「短期習得実践道場」 の ①講座の開催 りんご新わい化栽培及びぶどう短梢無核栽培 内 容 ②技術実践ほ場の設置 りんご及びぶどう 各1か所 概 2 ICT活用によるリアルタイムな情報提供と実践支援 (変更後 の内容) ①定点カメラ撮影及び画像配信 4か所 ②定点気象観測及び観測値配信 2か所 要 事業期間 平成30年4月1日 平成31年3月31日 等 成果目標|「りんご新わい化栽培」及び「ぶどう短梢無核栽培」の技術実践ほ場の設置により、受講生自ら (成果指標) が講座実施日以外でもほ場の観察や実践管理が可能となり、早期技術習得につながる。 (単位:円) 事業を構成する細事業名等 実施内容 計画(実績)額 備考 事 業 講座の開設及びITC活用に 費 短期習得実践道場 474,120 よる情報提供と実践支援 合 474,120 事 業 実 績 事 業 果 評 ഗ 成 侕 期待以上 1 技術実践型講座 1 技術実践型講座の開催 ・受講生16名(りんご7名、ぶどう11名 (1)りんご新わい化栽培(高密植等))が参加され、JA及び園主と連携し •設置場所:長野市上駒沢 てリアルタイムな実践型の講座によ •受講生:7名(農家子弟、定年帰農者等) り、技術習得につながった。 ・講座回数:7回、その他特別講座2回 2 ICT活用による習得促進 期待どおり ·「情報集積場所」では実践ほ場の生 (2)ぶどう短梢無核栽培 育画像、講座資料、気象情報と、新 •設置場所:長野市真島町 たに「Facebook」では、作業動画等 事 •受講生:11名農家子弟、定年帰農者等) を配信し、復習できる環境を整備す 業 ・講座回数:7回、その他特別講座7回 るとともに、受講生の質問に回答し 実 相互共有することで、習得につなが 績 2 ICT活用による習得促進 っている。) やや下回る •Web上に「情報集積場所」と新たに「Facebook」 •「Facebook」による動画等の配信 成 を開設し、各コーナーで技術習得支援 は、受講生から理解しやすいと感想 果 ①講座案内等の連絡 もあり、受講生のニーズに対応でき ②講座、各種技術資料の掲載 るものとなった。 ③質問及び回答 3 まとめ ④実践ほ場の定点カメラ画像(2回/日)と気象 ・実践型講座とICT活用の習得促進を 期待以下 ⑤「Facebook」による作業動画等の配信 組合わせることにより、講座終了時 に習得度点検を行い受講生全員が 技術習得ができた。 ・受講生のうち「りんご新わい化栽培」 に3名、「ぶどう短梢無核栽培」に 9名が取組んだ。 標記事業を平成31年度まで実施するとともに、平成31年度は「Facebook」の動画等を充実す

今後の方向性| 標記事業を平成31年度まで実施するとともに、平成31年度は「Facebook」の動画等を5 今後の方向性|ることにより、技術実践とICT活用反復学習による技術習得を支援する。